

講座・イベント情報



有馬富士共生センター



有馬富士公園パークセンター



有馬富士公園内では、工作教室、藍染め教室、料理教室、ヨガ、天体観測会、音楽コンサートなど、多くの講座やイベントが開催されています。詳しくは右記二次元コードからご覧ください。

トライやるウィーク 令和6年5月27日(月)、6月3日(月)、5日(水)

トライやる・ウィークとは、心身ともに大きく成長する時期にある中学生が、地域を学びの場として、ともに生きる心や感謝の心を育み、自立性を高める等、「生きる力」の育成を図った体験活動です。

有馬富士共生センターには、ゆりのき台中学校から2名、上野台中学校から3名の生徒が来られ、各日とも、午前には三田市の人口構造、地域の課題、地域で活動されている方等について、午後は子育て支援、防災活動に取り組まれている ミラクルウィッシュの益田さん、國谷さんから、活動を始めたきっかけ、これまでの活動内容等について話を聞いた後、災害時に使用する段ボールベッドや非常用トイレ等を組み立てて、避難所体験をしました。最後には、『私たちができる地域活動』について考えて、発表しました。



【私たちができる地域活動(発表から一部抜粋)】

- ・地域のイベント、お祭り等には、積極的に参加したい。
- ・近所の人に自分から挨拶して、顔を覚えるようにしたい。
- ・景観を良くするために、花壇に花を植えたい。
- ・トランペットを教えてみたい。
- ・絵を描くのが趣味なので、ポスターの作成等で協力したい。



【ご参加いただいた生徒の皆さんへ】

生徒の皆さんお疲れ様でした。皆さんには、これからの人生の中で、自分の得意なこと、好きなこと、やってみたいことを通じて、地域や社会のいろいろな人とつながることで、いろいろなことを経験し、苦難を乗り越え、より良い人生を歩んでいかれることを願っています。

【編集後記】

きょうせい秋号はいかがでしたか？

8月に南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表された際に、非常用の水・食料や防災グッズを準備された方も多いと思いますが、南海トラフ地震は、今後30年以内に70~80%の確率で発生するとされていますので、「日頃からの備え」を続けていきたいと思っております。

次号は、冬頃に発行する予定です。

また、11月中頃から暖炉に火を入れる予定です。お楽しみに！



有馬富士共生センターだより 令和6年 秋号

きょうせい



きょうせい
よってって
うきうき
せんたーへ
いらっやーい

編集・発行/三田市有馬富士共生センター 三田市尼寺968

TEL (079) 566-1200 FAX (079) 566-1199 Eメール kyosei_u@city.sanda.lg.jp

グループ紹介

有馬富士共生センターをご利用されている登録グループを紹介します。

三田市いづみ会



三田市いづみ会は、食生活改善を中心とした地域の健康づくりに取り組んでいるボランティアグループです。

今年で発足50周年を迎え、11名の運営委員の指導のもと、50歳代後半から70歳代を中心とした85名の会員で楽しく活動しています。活動内容は、毎月1回、栄養バランスを考えた料理作りの他、年1回のハイキングや健康体操も開催して体力向上にも取り組んでいます。有馬富士共生センターで、料理講習会等も予定していますので、興味のある方は、共生センターまでお問い合わせください。





有馬富士共生センター避難所運営訓練

令和6年9月15日(日)、16日(月・祝)



この訓練は、災害発生初期における避難所運営における職員の対応力を養うとともに、敢えて避難所の不便・不自由な状況を作り出し、これらを体験することにより、防災意識の醸成を図ることを目的として実施したものです。

当日は、有馬富士共生センター近隣の地域住民の方、防災活動に取り組まれている ミラクルウィッシュ のメンバー親子(犬も参加)、ドローンで夢を叶える子ども達を応援する活動に取り組まれている SANDA D TEAM のメンバー、県立三田祥雲館高等学校で防災に関する探求学習に取り組まれている高校生等、約50名の方にご参加いただき、居住場所の設営、給水車からの給水、マンホールトイレ・非常用トイレの設営、ポリ袋クッキング等の他、東日本大震災被災体験・災害時のドローン活用についての講話、HUG(避難所運営ゲーム)等を実施しました。



【居住場所の設営】



【給水車からの給水】



【マンホールトイレ設営】



【ポリ袋クッキング】



【東日本大震災被災体験・災害時のドローン活用についての講話、ドローン操縦体験】



【HUG(避難所運営ゲーム)】 ※ 避難者対応や避難所での出来事を模擬体験する防災カードゲーム



【参加者の感想(参加者アンケートより抜粋)】

- ・普段経験していないことができたので良い勉強になった。災害時に役立てたい。
- ・災害用のトイレの組立や実際に水を流している所を確認できて良かったです。
- ・楽しく学びました。これを活かしていきたいです。
- ・私たちの学校の探求学習に協力していただきありがとうございました。
- ・電気も水も出ない状況で暮らすことがいかに大変かを実感した。
- ・集団で生活することは、大変そうだということを少し体感できました。
- ・体力が必要。チームの連携や共有が大切だと思った。
- ・三田市が保有している避難者用テントや段ボールベッドの数が少なくてびっくりした。
- ・子どもが友達を作って、楽しくドローン操縦体験をさせてもらえて良かったです。
- ・HUG(避難所運営ゲーム)をやってみて、色々な問題を抱える人をどのような基準で、どこに居てもらうのが良いのか判断が難しいと思いました。避難者が来られた際、コミュニティとのつながりや家族構成などからグループ分けを速やかに進めること大切だと思いました。
- ・HUGは難しかったです。何回もやってみたいと思いました。



【ご参加いただいた皆さんへ】

有馬富士共生センター避難所運営訓練の実施にあたりまして、ご多忙の中、また、残暑厳しい中、ご参加いただきありがとうございました。

この避難所運営訓練は、行政だけではできないことを、地域の方や市民グループの皆さんと一緒にやるといって三田市が進める、協働・共創のまちづくり、公民連携の取り組みの一つと考えています。

今後も、このような取り組みを進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き、格別のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

